

第74回 亀岡清泉荘 運営推進会議 議事録

令和8年2月24日 14時00分 ～ 15時15分 於：曾我部町公民館

司会	亀岡清泉荘 代表 松野	記録	亀岡清泉荘 代表 松野
----	----------------	----	-------------

出席者、亀岡市高齢福祉課・武田さま、南部地域包括支援センター・西村さま
曾我部町自治会副会長・中西さま、南条区長・並河さま、夫婦池区長・河島さま、民生委員・大石さま、
利用者さまご家族・小林さま、井口さま
亀岡清泉荘・川勝、岩橋、村田

欠席者 犬飼区長・山脇さま、民生委員・原田さま

1. 小規模多機能ホーム 事業所外部評価・地域関わりシート：改善課題の報告（別紙）
2. 別紙報告事項・清泉荘の事業所内の活動（1月・2月）

意見・提案・質問等	回答
<p>上記1. の報告の後、地域で気になる方について事例検討（今回は清泉荘利用者さま）を行った。</p> <p>※入浴（脱衣）を頑なに断りされる認知症の方</p> <p>90歳代女性の方 ご自宅では入浴は出来ておられない、着替えも難しい。 入居後半年以上たつが、服を脱ぐ事を嫌がられる。いろいろと試すが、服を脱ぐ段になると「警察呼ぶで。助けて」と叫ばれ、職員も自信をなくしている。 現状では機嫌が良く、起きて居室からホールに来られた時だけ二人介助で入浴することになっている。 お風呂に入られると、それはそれでよい感じになれる。</p> <p>※ご夫婦二人暮らしで、配偶者が入院しほぼ独居となり今後の生活に不安のある方</p> <p>90歳のご夫婦 ご主人はしっかりしておられるが、奥様は認知症と診断され、短期記憶もあまりない。ご夫婦で小規模を利用されている。ご主人が主に身の</p>	<p>自宅では普通に入浴をしているがデイサービスでは利用日2日とも入れてもらえばいいのに、1日だけは頼み込めば入っている。もう一日入ってほしいと思うが、嫌と言われる。用意をしてもカバンから出してしまう。なかなか大変だと思うが、くじけることなく言い続けるしかないのかと思う。（小規模ご利用ご家族）</p> <p>過去になにかあったのかもしれない。衛生的にはきれいにしなくてはいけないし、怒らず、気長に褒めていくしかないのではないかと。昔の方はたらいに水をはって洗ったりしていた。昔はどうされていたのか？お風呂は嫌いなのか、好きなのか 更衣はどうなのかなど情報を収集する。 とりあえず顔を覚えてもらって信頼してもらう。足浴から始め、良い気分になっていただくなど。生まれ持って入浴が嫌いな人もおられる。ある程度清潔が保っているのであれば、無理強いすることもないのかもしれない。 (清泉荘) お聞きしたアドバイスを参考に根気よく取り組んでいきたい。</p> <p>最近このようなケースが増えている。事前に何らかの支援を使っておく方がよい。 ショートステイを利用するなど。 行政でも元気な方、移動出来たりする方は難しいのではないかと。</p>

回りの世話をされ、生活が成り立っていたが、ご入院となった。娘様が遠方から帰って来られ世話をされているがストレスもたまり、入院も長期間になったことから、一度自宅に帰りたいと思われている。そうすると、認知症がある奥様が自宅にお一人となる。

ご家族が遠方だと気をもまれると思う。行方不明登録をする。認知症の方で足腰が丈夫な方は家族がおられても、おられなくても大変だと思う。

(清泉荘)

ゴミ出しの日をデイサービスの日と勘違いされて外で待っておられ、ご家族が違うといっても受け入れられないことがある。

過去に遠方のご家族が自宅にカメラをつけておられる利用者さまもあった。

介護度にもよるが介護保険を利用し、靴に着けるGPSを利用することもできる。

包括支援センター、地域の民生委員の方等とも連携をとって支援していきたい。

以上

※次回の運営推進会議は、令和8年4月下旬以降開催の予定で調整・連絡いたします。